

鶏、アヒルなどを飼っている皆さんへ

現在、中国や台湾などでは高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されています。国内でも11月に愛媛県において野鳥の糞便から鳥インフルエンザウイルスが検出されました。これから渡り鳥が飛来する時期を迎えるにあたり、下記の4原則を厳守し、鳥インフルエンザ感染を予防してください！

① 防鳥対策

野鳥と接触しないように、鶏舎内で飼いましょう！

放し飼いは感染の危険度が非常に高くなります。防鳥ネット（網目2cm以下）で鶏舎内に野鳥が入らないようにするとともに、ネットの破れがないかどうか、再点検をお願いします。

餌を鶏舎周辺にこぼさない。また保管は密閉容器で！

② 飲水対策

水道水を与えましょう！

※どうしても無理なら塩素消毒して下さい。
（雨水や川水等はウイルス・細菌に汚染されている危険性があります。）

③ 野生動物・衛生害虫対策

野生動物の侵入防止や衛生害虫の駆除をしましょう！

イタチ・ネズミ等の野生動物やハエ・ゴキブリ等の衛生害虫が鶏舎内にウイルスを持ちこむ危険性があります。また、わずかな隙間が獣害に繋がります。

④ 人による伝播対策

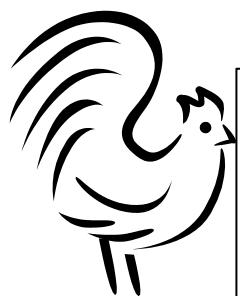
踏み込み消毒槽や消石灰の周辺散布により、ウイルスを鶏舎内に持ち込まないようにしましょう！

車のタイヤ等を消毒しましょう。

部外者の鶏舎への立ち入りを制限しましょう！

動物を触った後は、手洗い・うがいをしましょう！

※ 飼養している鶏、アヒルの羽数・健康状態などを記録しておきましょう。また異常がみられた場合には、直ちに当所まで連絡をお願いします。

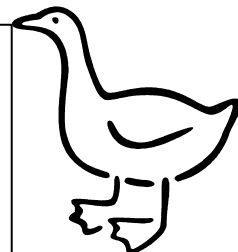


京 都 府 丹 後 家 畜 保 健 衛 生 所

与謝郡与謝野町字下山田 616

TEL：0772-43-1125（夜間・休日転送）

FAX：0772-43-1124



高病原性鳥インフルエンザとは？

【症状は？】

- ▼複数の鶏が突然死亡
- ▼神経症状（沈うつ、震え）
- ▼呼吸器症状（咳・くしゃみ）
- ▼顔・とさか・脚の腫れや出血
- ▼下痢
- ▼これらの症状を示さず急死



↑多数の鶏が急死

踏み込み消毒槽とは？【目的は？】

- ▼鶏舎内に病原体を持ち込まないため

【方法は？】

- ▼プラスチックコンテナに消毒剤を入れておき、鶏舎に入るときに長靴を浸すなどして消毒します。
- ▼逆性石鹼や消石灰が身近です。
- ▼汚れたらこまめに取り換えましょう。



予防対策の重要ポイント



- | | |
|---|--|
| <p>①人・物・車両によるウイルスの持込み防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理区域、家きん舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底 ・衛生管理区域専用の衣服、靴、家きん舎ごとの専用の靴の使用 ・上記措置の記録 | <p>②野生動物対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防鳥ネットの設置・修繕、壁の破損・隙間の修繕 ・家きん舎周囲の清掃、整理・整頓 ・上記措置の定期点検 |
|---|--|

周辺に水辺のある農場は
①、②の予防対策を徹底

（リスクを減らす取組（季節を限って水を抜く、野鳥を寄せ付けないよう忌避テープを張るなど）が効果的）